

# 7月 園だより

<教育目標> ・元気に遊ぶ子ども  
・豊かに感じる子ども  
・考え工夫する子ども

R5. 6. 30 文京区立本駒込幼稚園



## つながりのある教育活動

園長 藤田 智子

子どもたちが楽しみにしていたプールが始まりました。プール開きの会では、プールでの安全面の約束に加えて、元気にプールに入るための体作りに必要な2つのこと『早寝早起きをする』『好き嫌いをしないでしっかり食べる』について、子どもたちに話しました。子どもたちは、早く寝て、朝ご飯を食べて、早く幼稚園に来てプールに入ろう！と、プールを楽しみにしていました。なかには、プールが怖い、水が顔にかかるのが嫌という子どもたちもいましたので、「それぞれの学級の担任の先生は“プールが楽しくなる魔法”をもっているから、心配しなくても大丈夫」という話をしました。「すごいね！」と、子どもたち。子どもたちの期待を受けて、先生たちは子どもたちがプールを楽しむための魔法（活動内容や指導の工夫）に磨きをかけています。夏本番の7月、水に関わる活動の安全面に十分に配慮しながら、プールをはじめいろいろな水遊びを思い切り楽しめるようにしていきたいと思えます。

さて、プール開きで子どもたちに健康な体を作るために必要なことを話しましたが、今年度は、体を作る“食”に関する取り組みも積極的に行っています。

最近、園庭で子どもたちが注目している場所の一つに、鉄棒近くの栽培物コーナーがあります。子どもたちは、度々この栽培物コーナーに集まり、自分の学級の野菜苗はもちろんのこと、他学級の野菜の生長の様子もよく見ていて、「おいしそうだね」「もうすぐ食べられそうだね」と、収穫の日を楽しみにしながら話をしています。自分たちで、土づくりをし、苗植え、水やりや雑草取りをしてきたことが、このような姿につながっていることを実感します。収穫した野菜は、茹でたり、塩もみをしたりして、各学級で食べることを楽しんでいます。また、収穫物を見ながら製作をする活動も行っています。そして今週、年長組の学級では、収穫した野菜を使ってできることを考え、カレー作りをすることにしました。収穫した野菜以外にカレー作りに必要な物は、学級のみんなで地域の商店に買いに行き、お店の方とやりとりをしたり、お金を払ったりする経験をしました。揃えた材料を使って、今日は、カレー作りに取り組みました。野菜を洗ったり、包丁を使って野菜を切ったりする経験をしました。出来上がったカレーは、年少組・年中組にも分け、園のみんなで楽しむことができました。

連続性のある教育活動を計画をしていくことで、一つ一つの活動が子どもたちの体験、思考の中でつながりのあるものになります。つながりのある経験を豊かに積み重ねていくことは、興味の幅を広げたり、考えを深めたりすることにつながります。幼稚園の教育活動は、このように連続性のある直接体験を大切にしながら、体験から気づき、学び、心を動かし、一人一人が豊かな経験を積み重ねながらよりよく成長していくことを目指しています。

7月も、子どもたちがわくわくするような環境を工夫し、私たち教職員も子どもたちと楽しさを共有しながら本駒込幼稚園の教育に尽力してまいります。ご協力どうぞよろしくお願いいたします。



地域の商店で買い物



調理



会食

